

社会福祉法人史明会

令和4度 事業報告書

法人本部

1. 法人本部の主な業務

- ・理事会及び評議員会にかかる議案並びに日程の調整、議事録の作成
- ・法人全体の収支等経営状況の把握
- ・法人の課題分析、対応等の検討
- ・法人全体の財務指標の作成、経営分析
- ・契約、資金繰り、財産管理等
- ・国・県・市及び各種団体等の助成制度の活用
- ・その他

2. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会関係

①令和4年 4月8日開催(決議の省略)

第1号議案：ボイス移転計画の延期

第2号議案：独立行政法人福祉医療機構からの経営資金借入れ(ボイス)

②令和4年 5月27日開催(決議の省略)

第1号議案：令和3年度補正予算

第2号議案：令和3年度事業報告書

第3号議案：令和3年度決算

第4号議案：公益財団法人JKA補助事業の活用(リノ見守りセンサー)

③令和4年 7月25日開催(対面での決議)

第1号議案：第1回補正予算

第2号議案：リノ見守りセンサー設置工事にかかる指名競争入札の結果

第3号議案：バリエ(ボイス西ノ京)地下1階厨房設備設置工事にかかる指名競争入札の実施

④令和4年 8月22日開催(決議の省略)

第1号議案：バリエ(ボイス西ノ京)地下1階厨房設備設置工事にかかる指名競争入札の結果

⑤令和4年10月11日開催(決議の省略)

第1号議案：ボイス空調取替工事の実施及び契約方法

第2号議案：リノ簡易型陰圧ブースの購入及び契約方法

第3号議案：ボイス及びボイス西ノ京に関する運営規定の一部改正

第4号議案：第2回補正予算

⑥令和4年12月20日(決議の省略)

第1号議案：経理規定の改正について

第2号議案：就業規則（常勤・非常勤）の改正について

第3号議案：育児介護休業規程の改正について

⑦令和5年2月18日

第1号議案 独立行政法人 福祉医療機構からの経営資金借入について

第2号議案 役員（理事・監事）候補者について

【報告事項】

報告第1号 ボイス西ノ京に関する厨房設備品購入について

報告第2号 リノ新規外国人技能実習生雇用に係る借家（一戸建て）の借上げ契約について

報告第3号 ボイス東山に関する室内電気器具等の取替工事について

報告第4号 リノ本館2階及び3階クリーンゾーン扉設置工事について

報告第5号 令和3年度奈良市指導監査の結果報告について

報告第6号 令和4年度奈良市指導監査の結果報告について

⑧令和5年3月18日(決議の省略)

第1号議案 令和4年度 補正予算について

第2号議案 ボイス西ノ京に関する厨房設備の購入について

第3号議案 令和5年度 予算について

第4号議案 令和5年度 事業計画書について

第5号議案 看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエの休止計画について

(2) 評議員会関係

①令和4年6月3日開催(決議の省略)

第1号議案：令和3年度補正予算

第2号議案：令和3年度事業報告書

第3号議案：令和3年度決算

第4号議案：公益財団法人 JKA 補助事業の活用（リノ見守りセンサー）

3. 国・県・市及び各種団体の助成制度を活用した主な事業（100万円以上）

(1) 国・県・市の助成制度を活用した事業

①経済産業省先進的省エネルギー投資促進支援事業（障がい者支援施設ボイス）

・総事業費：30,492,000円(内補助額：4,968,100円)

②介護施設等簡易陰圧装置設置事業（特別養護老人ホームリノ）

・総事業費：3,960,000円（内補助額：3,960,000円）

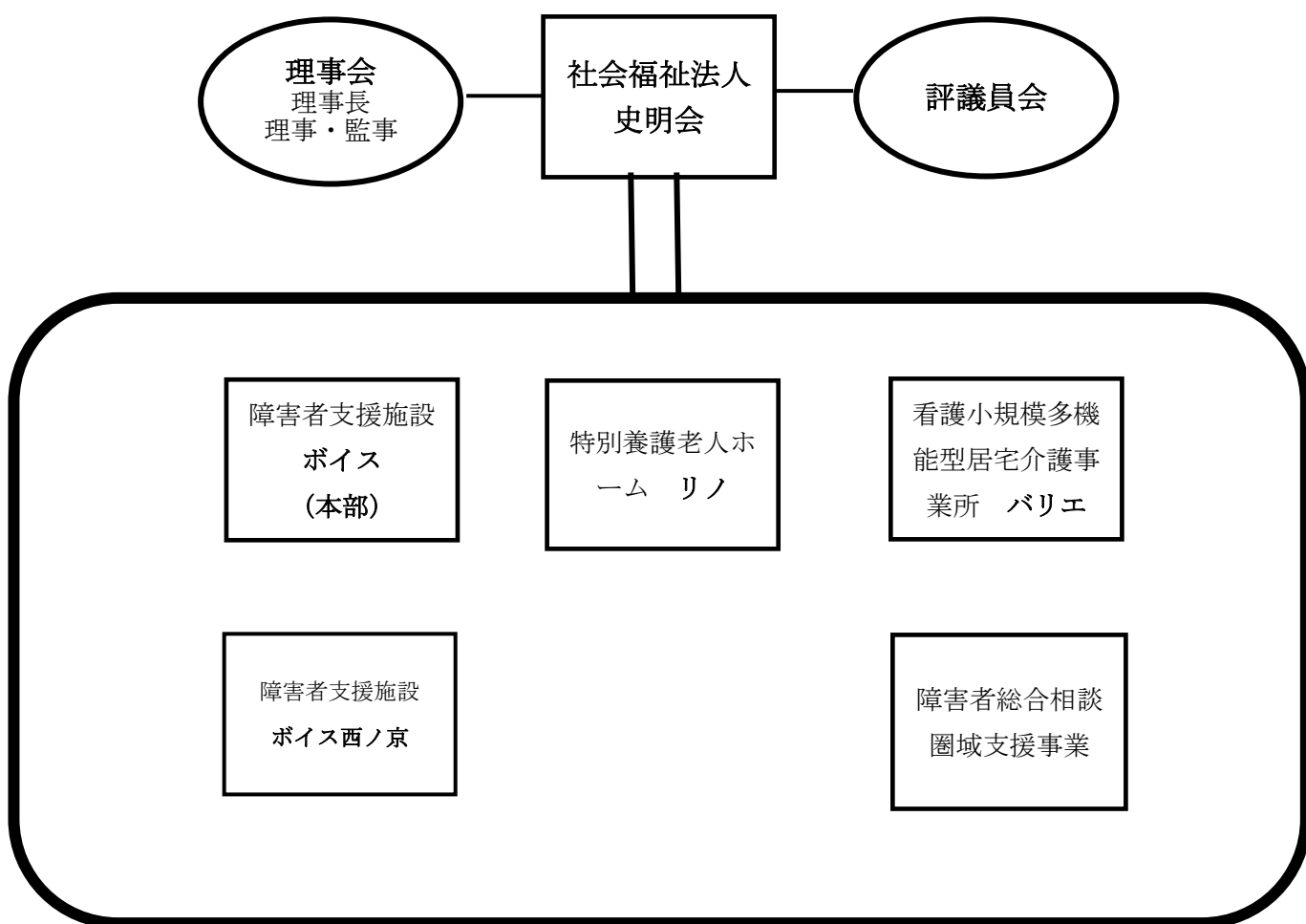
(2) 各種団体の助成制度を活用した事業

- ①公益財団法人 JKA 福祉機器の振興/介護センサーの導入（特別養護老人ホームリノ）
・総事業費：8,951,624 円（内補助額：6,713,718 円）

4. 苦情対応状況

令和 4 年度は、第三者委員会への苦情解決結果及び苦情原因の改善状況に関する報告事項はありませんでした。

5. 組織図



社会福祉法人史明会

令和4年度 事業報告書

障害者支援施設ボイス・障害者支援施設ボイス 西ノ京

支援方針：

令和4年度はボイス、ボイス西ノ京ともに新型コロナウイルス感染でのクラスターとなり、利用者・職員ともに多くの方が感染した。1名を除き重症化はせず寛解されている。

ボイスでは委託作業（プラスチック製品の組み立て・ラベル貼り）に力を入れており、定員を下げたことによりスペースを活用して、それぞれの障害特性に応じた環境設定をすることができており、今までよりも集中して取り組んでいる姿を見ることができている。

ボイス西ノ京では、高齢期や重複障害の利用者がゆったりとした生活の中で、アート活動や散歩を通して穏やかな時間を過ごせていただけるよう支援をしている。

ボイス西ノ京では、ほぼ全員が新型コロナウイルスに感染したことから、年末年始の外泊から再開し、ご家族との交流の再開も試みている。

人材確保と育成：

昨年度に引き続き、両施設ともに人員配置体制加算を取得できる程度に人材確保はできたが、女性スタッフの数が少ないことにより、夜勤や遅出の特定の時間帯の配置が在職スタッフの負担になっていることから、引き続き人材確保は必要である。

虐待防止の研修会や感染症対策、権利擁護の勉強会を適宜実施したが、職員（職員家族）の陽性発覚などにより延期することが多かった。

各部門の取り組み：

行事：例年行っていた施設外での家族交流を兼ねた運動会と忘年会は中止とした。

季節ごとの食事や行事は例年通り実施し、大型連休はホットケーキなどのお菓子作りをする機会を設けた。誕生日プレゼントの購入、ボイス会からのお菓子やクリスマスプレゼントの提供、3密を避けた場所への外出、施設内イベントなど趣向をこらしている

アート：（ボイス）活動を楽しまれる方や作品展での入賞を目指して取り組む入居者様があり、それぞれの目的をもって取り組むことができた。

（ボイス西ノ京）大きな作品に取り組むことはなかったが、数名の方は毎日色塗りや絵を描いて過ごすことができた。

委託：平日は委託作業活動、土日は休暇と生活にメリハリをつけることができたと思う。

運動：（ボイス）マラソンは継続して実施することができた。スポーツ大会等は本年度の参加を見送った。

（ボイス西ノ京）筋力維持のため施設外の散歩。外出が難しい方については施設内を周回するなど工夫した。リハビリ室でのリハビリ機器を使用しての筋力アップも試行している。

音楽療法：感染症対策のため、外部からの立ち入りを制限する観点から、実施を見送った。

感染衛生委員会：ボイス・ボイス西ノ京ともにクラスターとなり、ボイスでは約半数（男性利用者）ボイス西ノ京では1名を除き陽性となった。スタッフから利用者への感染が原因であった。

入職時の感染対策の指導を徹底する必要があるが、利用者がマスクの着用が難しい中、冬季・夏季の換気の難しさと重要性を認識した。

給食委員会：外出行事ができなかったことから、利用者それぞれの嗜好に応じた献立や誕生日のリクエストメニューを実施した。

虐待防止委員会：新規職員にもボイス虐待防止マニュアルを配布し説明する等再発防止に努めた。

利用者入所状況（令和4年4月～令和5年3月）

ボイス

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 月初日入所者 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 29 | 29 | 358 |
| 退所 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 入所 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 月末入所者 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 29 | 29 | 30 | 358 |

ボイス西ノ京

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 月初日入所者 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 25 | 317 |
| 退所 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | 2 |
| 入所 | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 月末入所者 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 25 | 25 | 315 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|

利用者の性別年齢別状況（令和5年3月31日）

ボイス

| | 21～30 歳 | 31～40 歳 | 41～50 歳 | 51～60 歳 | 61～70 歳 | 71～80 歳 | 合計 |
|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----|
| 男性 | 5 | 4 | 4 | 6 | 1 | | 20 |
| 女性 | | 8 | | 1 | 1 | | 10 |
| 合計 | 5 | 12 | 4 | 7 | 2 | | 30 |

ボイス西ノ京

| | 21～30 歳 | 31～40 歳 | 41～50 歳 | 51～60 歳 | 61～70 歳 | 71～85 歳 | 合計 |
|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----|
| 男性 | 2 | 3 | 4 | 3 | | 2 | 14 |
| 女性 | | | 1 | 3 | 4 | 3 | 11 |
| 合計 | 2 | 3 | 5 | 6 | 4 | 5 | 25 |

利用者の障害支援区分状況（令和5年3月31日）

ボイス

| | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 3 | 10 | 7 | 20 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 7 | 1 | 2 | 10 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 10 | 11 | 9 | 30 |

ボイス西ノ京

| | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 7 | 14 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 4 | 11 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 2 | 12 | 11 | 25 |

利用者の療育手帳所持状況（令和4年3月31日）

ボイス

| | | | |
|----|----|---|----|
| | A | B | 合計 |
| 男性 | 16 | 3 | 19 |
| 女性 | 6 | 5 | 11 |
| 合計 | 22 | 8 | 30 |

ボイス西ノ京

| | | | |
|----|----|---|----|
| | A | B | 合計 |
| 男性 | 14 | | 14 |
| 女性 | 11 | | 11 |
| 合計 | 25 | | 25 |

利用者の身体障害者手帳状況（平成4年3月31日）

ボイス

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 合計 |
| 男性 | | | 1 | 1 | | | 2 |
| 女性 | | | 1 | | | | 1 |
| 合計 | | | 2 | 1 | | | 3 |

ボイス西ノ京

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 合計 |
| 男性 | 1 | 1 | | | | | 2 |
| 女性 | 2 | 1 | 1 | | | | 4 |
| 合計 | 3 | 2 | 1 | | | | 6 |

社会福祉法人史明会

令和4度 事業報告書

特別養護老人ホーム リノ事業報告

稼働率：

令和4年度は、施設での看取り等での死亡が多く発生した。その結果として入居の稼働率を維持するのに苦慮する事態となる。

また、コロナの影響によりシュートステイでも新規入居の利用が少なく稼働率も低迷していたが、下半期からシュートステイ専用の予約管理システムを導入したことで、手間のかからない継続的営業活動が可能となり、その結果新規利用者の獲得が増え稼働率はコロナ前の水準に近づいている。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種については、昨年度に引続き入居者及び職員を対象に嘱託医の協力を得て巡回による施設内接種を第4回目として7月から9月に、第5回目を12月から翌年2月にかけて実施した。

| | 特養リノ | R4年度 | 年間日数：365日 | | |
|-----------|---------|------|-----------|--------------|--------|
| 【入居】 | | | | 【ショート】 | |
| 月間稼働率 | | | | 月間稼働率 (空所含む) | |
| R4年4月 | 82% | | | R4年4月 | 67% |
| R4年5月 | 84% | | | R4年5月 | 66% |
| R4年6月 | 86% | | | R4年6月 | 61% |
| R4年7月 | 86% | | | R4年7月 | 55% |
| R4年8月 | 86% | | | R4年8月 | 60% |
| R4年9月 | 85% | | | R4年9月 | 49% |
| R4年10月 | 84% | | | R4年10月 | 52% |
| R4年11月 | 85% | | | R4年11月 | 59% |
| R4年12月 | 85% | | | R4年12月 | 61% |
| R5年1月 | 84% | | | R5年1月 | 71% |
| R5年2月 | 83% | | | R5年2月 | 84% |
| R5年3月 | 85% | | | R5年3月 | 77% |
| *年間稼働率 | 85% | | | *年間稼働率 | 64% |
| *年間利用者合計数 | 27,200名 | | | *年間利用者合計数 | 2,307名 |

職員採用・勉強会等：

令和元年度より入社後3日以内に新人研修を開始。特養とは何か、介護者の心構えなど3時間程度おこなう。結果として離職率の低下に繋がり、特に未経験で介護の経験がないスタッフの安定がはかれた。

各種勉強会は例年と変わらず、コロナ対策を講じたうえで開催。参加者へは出席要請と確認を十分におこない、開催後のレポート提出の徹底により個々の習熟度合の把握をおこなった。

採用に関しては、派遣からの正職員への登用が主流となっている。ハローワーク、HPからの応募はほぼなかった。

総 評：

令和 2 年明けからのコロナ感染拡大により施設での備品の確保、職員・利用者の健康確認の徹底に苦慮したが、利用者の確保については相談員などの営業努力に加え県民だよりへの公告掲載やショートステイの予約管理システム導入などによりショートステイを中心に後半以降では増加が顕著となり、安定した運営が行えた。また、介護職員の定着に向けスキルアップすることで離職が減り、利用者の安定につながった。

社会福祉法人史明会

令和 4 度 事業報告書

看護小規模多機能型居宅介護事業所バリエ

支援目標：

新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年となった。通所利用様の感染もあり、また、スタッフ家族等からの感染により、度々濃厚接触者と感染者が発生し、都度利用者様とご家族様には利用制限や予定の変更などをお願いする結果となった。

地域とのつながりについては、地域の体操教室（いきいき100才体操）の集まりを地下の会議室で令和5年2月から再開した。

職 員：

昨年に引き続き、登録利用者の増減に伴い、人員補充が常に必要な1年であった。利用者の増減に応じて職員数を増減することは難しいことから、今後は常に通り15名に対しての人員配置を満たすように職員配置を行っていくよう試行錯誤したが、職員の定着が難しかった。また、医療行為について、看護師のスキル不足もあり、実技研修等の必要性を痛感した。

研修計画：

主にOJTにより実施。感染症対策のため、複数人で集まる機会を極力避けたことと、熱発者や家族（同居者）の発熱や体調不良により、急な休みも多くあり、予定通りの研修実施ができなかった。

登録者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 要介護1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 2 |
| 要介護2 | 9 | 8 | 9 | 9 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 92 |
| 要介護3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 29 |
| 要介護4 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 29 |